

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年3月30日

事業所名 放課後クラブ オーパ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	60%	20%	活動場所に近隣の武道場を借りるなどし対応しています。	
	2	職員の配置数は適切である	80%	0%	必要人数よりも多めに配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	20%	80%	必要に応じて改修していきます。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	80%	0%	朝礼や連絡ノート、定期的な会議を行い周知している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	80%	0%	アンケート結果を真摯に受け止め改善します。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	40%	0%	ホームページに公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	20%	0%	顧問、行政書士による定期的な監査を行っています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	60%	20%	定期的に研修を行っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	80%	0%	利用者様や保護者様へ聞き取りを行い作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	80%	0%	オーバグループ内で用意したアセスメントシートを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	80%	0%	施設管理者、常勤職員を中心にパートも交えて立案を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	80%	0%	季節や学校行事に合わせた活動を行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	80%	0%	系列事業所とも内容に重複がないように設定しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	主として集団活動を行い、個別活動もあわせて活動しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80%	0%	支援開始前に打ち合わせを行い一日の流れの確認を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	60%	0%	支援終了後には送迎などもある為、ノートなどをもちいて共有を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	80%	0%	日報を確認しながら、個別支援計画につなげられるようにしています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	80%	0%	定期的にモニタリングと面談を行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	60%	0%	社会経験を養うために複合的に活動しています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	80%	0%	児童発達支援管理責任者を中心に会議に参加しています。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	年に数回、学校と情報共有会を開いています。また、各担任とは送迎時や電話で連絡をとりあっています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	20%	20%	現在、該当の利用者様はおられません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	60%	0%	子ども総合支援センターや児童発達支援事業所と連携を取っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	40%	0%	事業所の対象年齢上該当の利用者様はおられません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	40%	0%	子ども総合支援センターと連携を取りながら助言等を受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	60%	初めてマルシェを開催したり、希望者と参加し地域との交流を図っています。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	20%	0%	統括責任者を中心に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	80%	0%	連絡帳や公式LINEを用いて情報共有おこなっています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	40%	20%	必要に応じて情報共有しています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	80%	0%	契約時に重要事項説明書を用いて説明を行い、また都度対応できるようにしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	80%	0%	定期的な面談や連絡帳・公式LINEを用いて行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	40%	40%	様々な意見があるので予定はしていませんが、運動会やマルシェなどの企画で保護者様同士で連携を取っていただける機会を設けています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	80%	0%	何か不具合、不都合が生じた際には早急に対応して。また再発防止策を立て、徹底しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	80%	0%	毎月、予定表や通信簿を配布している。また連絡帳・公式LINEを用いて個別に連絡しています。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報は鍵付きキャビネットを使い保存しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	80%	0%	記録として見返すことのできる媒体を使うなどしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	60%	20%	マルシェなどの企画で地域住民と連携を取っていただける機会を設けています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	60%	20%	緊急時対応マニュアルを作成し、契約時に説明・配布しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	60%	20%	年に2回の避難訓練を行っています。	お出かけに防災関係のものも年に数回実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待防止研修への参加を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	事前に説明の上、利用者の安全確保のためや無負えない場合のみ行うと周知しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギーの確認を行ったうえで、プログラムに合わせて都度食物アレルギーのアンケートを実施しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	80%	0%	系列事業所全体で作成共有しています。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年4月30日

事業所名 オーパ・セカンド

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	57%	0%	人数に応じて対応している	
	2 職員の配置数は適切である	57%	14%	当日の利用者の変動にも対応している	児童2人に対し職員1人の手厚い配置を行っている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0%	71%	建物入口に飛び出し注意の看板を設置している。	事業所がビルの2階となるので階段昇降がスムーズに行えるようにしていく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	43%	29%	職務の朝礼にて職員間での共有をしている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	71%	0%	保護者等向けアンケートを元に業務改善に努めています	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	57%	0%	ホームページに公開しています	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	29%	14%	顧問行政書士による定期的な監査を行っています	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	43%	14%	定期的に少人数での研修を行っています	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	57%	0%	利用者様や保護者様へ聞き取りを行い作成しています	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	43%	0%	オーパグループ内で用意したアセスメントシートを使用しています	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	57%	14%	マンネリ化しないように多くの職員が立案している	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	57%	0%	マンネリ化しないように多くの職員が立案している	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	86%	14%	平日、休日等異なるプログラムを用意し固定化しないように進めています	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	86%	0%	利用者のニーズに合わせて取り組んでいます	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	71%	29%	支援開始前に打ち合わせを行い一日の流れの確認をしています	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	29%	71%	送迎の兼ね合いにより全員が参加出来ていません	朝礼や昼礼、情報共有アプリを活用して日々支援に関する情報を共有している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	個別支援計画を確認しながら日々の記録と支援の見直しを図っています	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	57%	0%	定期的にモニタリングと面談を行っています	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	71%	14%	社会経験を養うために複合的に活動しています	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	86%	0%	管理責任者を中心に会議を行っています	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	86%	0%	定期的に学校と情報共有をしています。また万が一に備えられるように日々の支援から共有事項しています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	43%	14%	現在、該当の利用者様はおられません	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	29%	29%	子ども総合支援センターや児童発達支援事業所と連携を取っています	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	14%	43%	必要に応じてご家族様と相談し、情報を提供させていただいております	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	43%	14%	子ども総合支援センターと連携を取りながら助言等受けています	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	43%	14%	初めてマルシェを開催したり、希望者と参加し地域との交流を図っています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	57%	総括責任者を中心に参加しております	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	86%	14%	連絡帳や公式LINEを用いて情報共有しています	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	29%	43%	必要に応じて情報共有しています	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時にしっかりとご説明をさせていただき、ご質問等にもすぐに対応しております	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	定期的な面談や連絡帳・公式LINEを用いて随時助言・支援を行っています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	86%	様々なご意見があるので予定はしていませんが、運動会やマルシェなどの企画で保護者様同士で連携を取っていただける機会を設けています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	何らかの不具合、不都合が生じた際には早急に対応しています。また再発防止策を立て、徹底しています	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月、予定表や通信簿を配布しております。また連絡帳・公式LINEを用いて連絡しています	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報は鍵付きキャビネットを使い保存しています	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	定期的な面談や連絡帳・公式LINEを用いて情報共有しています	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	71%	29%	マルシェなどの企画で地域住民と連携を取っていただける機会を設けています。	地域住民との交流や、利用児童の社会経験を育むことを目的として、マルシェの開催などの取り組みを通じた事業運営を行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	71%	14%	緊急時対応マニュアルを保護者様に配布し共有しております	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	71%	14%	定期的に避難訓練を行っています	お出かけに防災関係のものも年に数回実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	71%	14%	虐待防止研修への参加を行っています	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	86%	14%	安全面を第一優先して行動いたします。配慮が必要な場合がある際には事前に保護者様に確認を取らせていただいております	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	プログラムに合わせて都度食物アレルギーのアンケートを実施しております	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	71%	0%	系列事業所全体で作成共有しています	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年4月30日

事業所名 オーパ・サード

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	80%	20%	人数に応じて対応している	利用者様が増えたこともあり、スペース確保と受入れできるように事業所を増やしスペースの確保ができるようにさせていただいております
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	当日の利用者の変動にも対応している	利用予定人数に対し半数の職員配置を行っています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	玄関入り口前にスロープがあります。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	職務の朝礼にて職員間での共有をしている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者等向けアンケートを元に業務改善に努めています	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページに公開しています	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	80%	20%	顧問行政書士による定期的な監査を行っています	適宜運営における課題点を指摘していただいております
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	40%	60%	定期的に少人数での研修を行っています	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	80%	0%	利用者様や保護者様へ聞き取りを行い作成しています	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	オーバグループ内で用意したアセスメントシートを使用しています	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	マンネリ化しないように多くの職員が立案している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	マンネリ化しないように多くの職員が立案している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	平日、休日等異なるプログラムを用意し固定化しないように進めています	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	利用者のニーズに合わせて取り組んでいます	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	支援開始前に打ち合わせを行い一日の流れの確認をしています	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	80%	20%	送迎の兼ね合いにより全員が参加出来ていません	送迎の兼ね合いにより翌日に情報共有しています。また職員間での連絡ノートを用いて当日以外の職員にも情報共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	個別支援計画を確認しながら日々の記録と支援の見直しを図っています	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的にモニタリングと面談を行っています	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	社会経験を養うために複合的に活動しています	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	管理責任者を中心に会議を行っています	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	定期的に学校と情報共有をしています。また万が一に備えられるように日々の支援から共有事項しています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	60%	40%	現在、該当の利用者様はおられません	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	60%	40%	子ども総合支援センターや児童発達支援事業所と連携を取っています	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	20%	必要に応じてご家族様と相談し、情報を提供させていただいております	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	20%	100%	子ども総合支援センターと連携を取りながら助言等受けています	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%	20%	コロナ禍の為外部との交流は控えています	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	120%	0%	総括責任者を中心に参加しております	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や公式LINEを用いて情報共有しています	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	60%	40%	必要に応じて情報共有しています	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時にしっかりとご説明をさせていただき、ご質問等にもすぐに対応しております	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	定期的な面談や連絡帳・公式LINEを用いて随時助言・支援を行っています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	40%	60%	様々なご意見があるので予定はしていませんが、運動会やマルシェなどの企画で保護者様同士で連携を取っていただける機会を設けています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	何かが不具合、不都合が生じた際には早急に対応しています。また再発防止策を立て、徹底しています	日々の利用者様との関わりにおいて、苦情件数0を目標に取り組んでいます。またご指摘をいただいた際には早急に対応していくように心がけております
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月、予定表や通信簿を配布しております。また連絡帳・公式LINEを用いて連絡しています	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報は鍵付きキャビネットを使い保存しています	他の利用者様情報が他者に漏れないように十分に注意しております
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	定期的な面談や連絡帳・公式LINEを用いて情報共有しています	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	100%	0%	マルシェなどの企画で地域住民と連携を取っていただける機会を設けています。	地域住民との交流や、利用児童の社会経験を育むことを目的として、マルシェの開催などの取り組みを通じた事業運営を行っている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	緊急時対応マニュアルを保護者様に配布し共有しております	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	80%	20%	定期的に避難訓練を行っています	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	80%	20%	虐待防止研修への参加を行っています	定期的に職員間でミーティングを行い、利用者様のニーズに合わせた支援を共有しています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	安全面を第一優先して行動いたします。配慮が必要な場合がある際には事前に保護者様に確認を取らせていただいております	定期的に会議し、やむを得ない状況下を想定した共有をしています。安全で快適な環境を提供できるように努めています
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	プログラムに合わせて都度食物アレルギーのアンケートを実施しております	プログラムに合わせて事前に保護者様に確認を取っております
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	系列事業所全体で作成共有しています	万が一起きてしまった場合には再発防止を徹底しております

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年4月30日

事業所名 オーパ・ネクスト

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	80%	0%	家具の配置等を工夫してできるだけ広い活動スペースを確保しています。	
	2 職員の配置数は適切である	80%	20%	なるべく必要人数よりも多く配置できるようにしています。	利用者数の半数が職員の配置にしています。随時職員も募集しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0%	100%	必要に応じて改修していきます。	階段に手すりを設置しています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	20%	20%	ミーティングの時間を取り、子どもの支援の情報を共有しています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	80%	0%	アンケート結果を真摯に受け止め改善します。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	80%	0%	ホームページで公表します。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	20%	0%	顧問行政書士による定期的な監査を行っています。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	20%	0%	定期的に研修を行っています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	60%	0%	利用者様や保護者様へ聞き取りを行い作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	60%	0%	オーバグループ内で用意したアセスメントシートを使用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	60%	0%	施設管理者、常勤職員を中心に立案しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	80%	20%	子どもたちひとりひとりに合わせたプログラムを作成しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	80%	0%	休日や長期休暇中は専用の課題を作り支援しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	80%	0%	ペアで取り組む課題や、ボードゲームなど集団で取り組める遊びを取り入れています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	20%	40%	支援開始前にミーティングの時間を設け情報共有をしています。	当日の事業がスムーズに行うために事前の打ち合わせ、段取りをする。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	40%	20%	支援終了後には送迎などもある為、ノートなどをもちいて共有を行っている。	翌日のミーティングで前日の情報共有を行います。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日報を確認しながら、個別支援計画につなげられるようにしています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	60%	20%	定期的にモニタリングと面談を行っています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	60%	0%	社会経験を養うために複合的に活動しています	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	60%	0%	児童発達支援管理責任者を中心に会議に参加しています。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	80%	20%	年に数回、学校と情報共有会を開いています。また、各担任とは送迎時や電話で連絡をとりあっています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	20%	20%	現在、該当の利用者様はおられません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	40%	0%	子ども総合支援センターや児童発達支援事業所と連携を取っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	80%	0%	今年度は対象利用者が2名いましたが卒業前の短期間利用だったことと、活動内容が就労先との関連性も低いため、連携等は行っていません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	40%	0%	子ども総合支援センターと連携を取りながら助言等受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	20%	60%	初めてマルシェを開催したり、希望者と参加し地域との交流を図っています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	40%	0%	統括責任者を中心に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	40%	0%	連絡帳や公式LINEを用いて情報共有おこなっています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	40%	0%	必要に応じて情報共有しています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	60%	0%	契約時に重要事項説明書を用いて説明を行い、また都度対応できるようにしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	80%	0%	定期的な面談や連絡帳・公式LINEを用いて行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	20%	20%	様々なご意見があるので予定はしていませんが、運動会やマルシェなどの企画で保護者様同士で連携を取っていただける機会を設けています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	80%	0%	何か不具合、不都合が生じた際には早急に対応しています。また再発防止策を立て、徹底しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	80%	0%	毎月、予定表や通信簿を配布しています。また連絡帳・公式LINEを用いて個別に連絡しています。	
	35	個人情報に十分注意している	80%	0%	個人情報は鍵付きキャビネットを使い保存しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	80%	0%	記録として見返すことのできる媒体を使うなどしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	80%	0%	マルシェなどの企画で地域住民と連携を取っていたり、マルシェを開催しています。	地域住民との交流や、利用児童の社会経験を育むことを目的として、マルシェの開催などの取り組みを通じた事業運営を行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	60%	0%	緊急時対応マニュアルを作成し、契約時に説明・配布しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	災害の疑似体験や研修も行っていきます。	定期的に避難訓練や防災を学べる体験活動やお出かけも等も取り入れ実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	80%	0%	虐待防止研修への参加を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	80%	0%	事前に説明の上、利用者の安全確保のためや無負えない場合のみ行うと周知しています。	同意書をいただき対応しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	60%	0%	アレルギーの確認を行ったうえで、プログラムに合わせて都度食物アレルギーのアンケートを実施しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	60%	0%	系列事業所全体で作成共有しています。	職員全体で情報共有できるように努めます。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年4月30日

事業所名 オーパ・アスリートクラブ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	60%	0%	室内運動ができる程のスペースがある。	事業所内も活動スペースを広く出来るようにレイアウト等も変更しています
	2 職員の配置数は適切である	60%	0%	細かいパートに分かれた専門線。	人員が少ない場合は他事業所から応援をお願いしたり、求人で募集をかけていただいています
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	60%	0%	トイレが手すり。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	40%	20%	子どもたちの変化を共有。改善後の共有。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	80%	0%	社員との面談や、子供との面談。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	20%	40%	ホームページに公開しています	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	20%	20%	顧問行政書士による定期的な監査を行っています	適宜運営における課題点を指摘していただいております
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	60%	20%	福祉事業団等の配信研修に積極的に参加しています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	80%	0%	計画的な面談。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	40%	20%	その子に合った目標設定、提供内容。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	40%	20%	サービス提供に選択制としチームを設定しています	利用日により年代や性別に幅があるため、複数のプログラムを用意し高い質のサービスを継続的に提案できることを続けていきます
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	80%	0%	様々な企画。	3つのチームに指導担当をつけ、それぞれの特色を生かせる内容となるように日々メニューの選定を行っております
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	80%	0%	多様な運動内容、季節に応じたメニュー。	利用者の実態に合わせた提案ができるように日々構築し提案しております
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	80%	0%	利用者のニーズに合わせて取り組んでいます	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	60%	20%	支援開始前に打ち合わせを行い一日の流れの確認をしています	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	40%	20%	送迎の兼ね合いにより全員が参加出来ていません	送迎の兼ね合いにより翌日に情報共有しています。また職員間での連絡ノートを用いて当日以外の職員にも情報共有しております
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	80%	0%	連絡帳や運動記録。	社員が中心に記録を残すようにしております
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	60%	0%	定期的にモニタリングと面談を行っています	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	80%	0%	社会経験を養うために複合的に活動しています	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	80%	0%	児童発達支援管理責任者を中心に会議を行っています	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	80%	0%	定期的に学校と情報共有をしています。また万が一に備えられるように日々の支援から共有事項しています	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	40%	0%	現在、該当の利用者様はおられません	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	40%	0%	子ども総合支援センターや児童発達支援事業所と連携を取っています	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	40%	0%	就労施設への引継ぎを昨年度初めて実施しました。	事前の段取りなど後手になった部分もありましたが適切に継続支援を行っております
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	40%	0%	子ども総合支援センターと連携を取りながら助言等受けています	地域や外部との連携は密に取っています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	40%	初めてマルシェを開催したり、希望者と参加し地域との交流を図っています。	コロナ禍の為地域の活動には積極的な参加はできませんでしたが、感染状況を加味しながら参加を検討します
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	40%	総括責任者を中心に参加しております	状況に応じて総括責任者を中心に参加しております
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	60%	0%	連絡帳や公式LINEを用いて情報共有しています	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	20%	20%	必要に応じて情報共有しています	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	60%	0%	契約時にしっかりとご説明をさせていただき、ご質問等にもすぐに対応しております	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	60%	0%	定期的な面談や連絡帳・公式LINEを用いて随時助言・支援を行っています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	20%	20%	様々なご意見があるので予定はしていませんが、運動会やマルシェなどの企画で保護者様同士で連携を取っていただける機会を設けています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	60%	0%	何かが不具合、不都合が生じた際には早急に対応しています。また再発防止策を立て、徹底しています	日々の利用者様との関わりにおいて、苦情件数0を目標に取り組んでいます。またご指摘をいただいた際には早急に対応していくように心がけております
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	40%	0%	毎月、予定表や通信簿を配布しております。また連絡帳・公式LINEを用いて連絡しています	
	35	個人情報に十分注意している	60%	0%	個人情報には鍵付きキャビネットを使い保存しています	他の利用者様情報が他者に漏れないように十分に注意しております
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	60%	0%	定期的な面談や連絡帳・公式LINEを用いて情報共有しています	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	40%	20%	マルシェなどの企画で地域住民と連携を取っていただける機会を設けています。	地域住民との交流や、利用児童の社会経験を育むことを目的として、マルシェの開催などの取り組みを通じた事業運営を行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	20%	20%	緊急時対応マニュアルを保護者様に配布し共有しております	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	40%	20%	定期的に避難訓練を行っています	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	60%	0%	虐待防止研修への参加を行っています	定期的に職員間でミーティングを行い、利用者様のニーズに合わせた支援を共有しています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	60%	0%	安全面を第一優先して行動いたします。配慮が必要な場合がある際には事前に保護者様に確認を取らせていただいております	児童管理責任者を中心に定期的に会議し、やむを得ない状況下を想定した共有をしています。安全で快適な環境を提供できるように努めています
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	40%	0%	プログラムに合わせて都度食物アレルギーのアンケートを実施しております	プログラムに合わせて事前に保護者様に確認を取っております
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	60%	0%	系列事業所全体で作成共有しています	万が一起きてしまった場合には再発防止を徹底しております

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年4月30日

事業所名 オーパ・アスリートクラブチャレンジ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	安全面に留意し、各々のスペースが確保できるよう努めている。	
	2	職員の配置数は適切である	80%	20%	死角を少なくするよう、対になるよう、職員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	40%	60%	階段の手すりを子どもの身長と手の大きさに合ったものを設置している。	手すりを左右に設置し、高さを変え子どもや大人の高さに合わせ設置改善した。階段の安全性を高めることが必要(衝撃緩和)。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	60%	20%	朝礼等職員間で個人情報、支援方法等情報共有を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	80%	0%	保護者等向けアンケートを元に業務改善に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	60%	20%	事業所ホームページに公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	40%	20%	顧問行政書士による定期的な評価を受けている。	適宜運営における課題点をフィードバックしてもらっている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	80%	0%	福祉事業団等の研修に積極的に参加している。	研修内容を現場で活用していく必要がある。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	80%	0%	利用者様や保護者様との面談を通して、ニーズの把握、支援者からの視点を集約し計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	80%	0%	大阪府が推奨しているフォーマットを元に工夫を加えたものを使用しています	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	80%	0%	サービス提供に選択制と各チームを設定しています	利用対象や目標値など設定について日々調整を行っていますように定期的な会議を行っております
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	80%	0%	各週各曜日提供内容を設定し、様々な内容に取り組みよう図っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	各日個々のニーズ、季節に応じたもの、体験等様々な企画行事を計画し実施している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	80%	0%	利用者のニーズに合わせて企画行事のみならず自由参加型の活動を設けている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80%	20%	支援開始前に打ち合わせを行い当日の予定、支援内容およびその方法について確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	20%	80%	送迎の関係で翌日に情報共有を実施している。特に必要な情報についてはLINEを用いて個人情報に留意し情報共有を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	具体的な記録を基に統一した支援方法を検討・実施している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	80%	0%	定期的にモニタリングと面談を実施し、利用者様および保護者様のニーズを基に支援計画を作成している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	80%	0%	総合的な支援を図った様々な要素を交えた活動を実施している。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	80%	0%	児童発達支援管理責任者を中心に会議に参画している。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	定期的に学校と情報共有を行っている。年に1回連絡会を設け、より詳細な情報交換を実施している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	80%	0%	現在、該当の利用者様は在籍していない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	60%	40%	子ども総合支援センター、児童発達支援事業所等の関係機関と連携している。	就学前の利用事業所との連携を図る必要がある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	60%	40%	今年度の利用者様は該当なし。以前別事業所への移行の際必要な情報共有を行った実績あり。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	80%	0%	子ども総合支援センターや地域の相談連絡会など連携を取りながら助言を受けている。	中核機関と積極的な連携をする必要がある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	60%	20%	個人情報の観点から交流の機会は控えている	初めてマルシェを開催したり、希望者と参加し地域との交流を図っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	60%	20%	地域の協議会や関係機関との連絡会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	80%	0%	連絡帳や公式LINEを用いて情報共有している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	80%	0%	利用者様の様子から具体的な働きかけについて共有している。	子育て支援の具体的な方法についてペアレント・トレーニングの機会を設けることが望ましい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	80%	0%	事前説明を徹底し、疑問点があれば迅速に対応している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	80%	0%	定期的な面談のみならず、連絡帳や公式LINEでの情報共有、送迎時に保護者様と対話をする中で必要に応じた支援を実施している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	20%	40%	様々なご意見があるので予定はしていませんが、運動会やマルシェなどの企画で保護者様同士で連携を取っていただける機会を設けています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	80%	0%	不具合、不都合が生じた際には早急に対応するとともに再発防止策を講じている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	80%	0%	毎月活動予定表や通信簿を配布し周知している。また必要に応じて連絡帳や公式LINEを用い情報発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報は鍵付きキャビネットを用い、厳重に保存している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	80%	0%	定期的な面談や連絡帳・公式LINEを用いて情報共有している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	80%	0%	外部との交流は個人情報の観点から最小限に留めている。	今後は社会的包摂を目的とした地域交流を図った取り組みを増進していくことを検討する。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	80%	0%	緊急時対応マニュアルを保護者様に配布し共有している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	80%	20%	年に2回避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	80%	20%	職員間で利用者様への働きかけについて見直しを適宜行い、対応についての検討、改善を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	80%	0%	身体拘束について実施する際の具体的な場面を説明し、同意を得た上でやむを得ない状況時のみ必要最小限に留めた対応をしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	80%	0%	プログラムに合わせて都度食物アレルギーの確認を行っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	80%	0%	系列事業所全体で作成共有している。	